

## 参考資料

### 1. 「平成28年 春のヒグマ注意特別期間」について

**期間：平成28年4月1日（金）～5月31日（火）の61日間**

#### (1) 概要

ヒグマによる人身被害の未然防止を図るため、平成14年度から、道民等が山菜採りやキノコ採りなどのため、ヒグマの生息する野山に入る機会の多くなる春と秋に、「ヒグマ注意特別期間」を設定し、普及啓発事業を実施。

#### (2) 取組

「野山でヒグマに遭わないための基本的ルール」の普及啓発を図るための取組を実施。

##### <基本的なルール>

- 事前にヒグマの出没情報を確認する。
- 単独行動を避け、複数で行動する。
- 鈴など音の出るものを鳴らす。
- クマの足跡やフンを見つけたら、すぐに引き返す。

##### <取組>

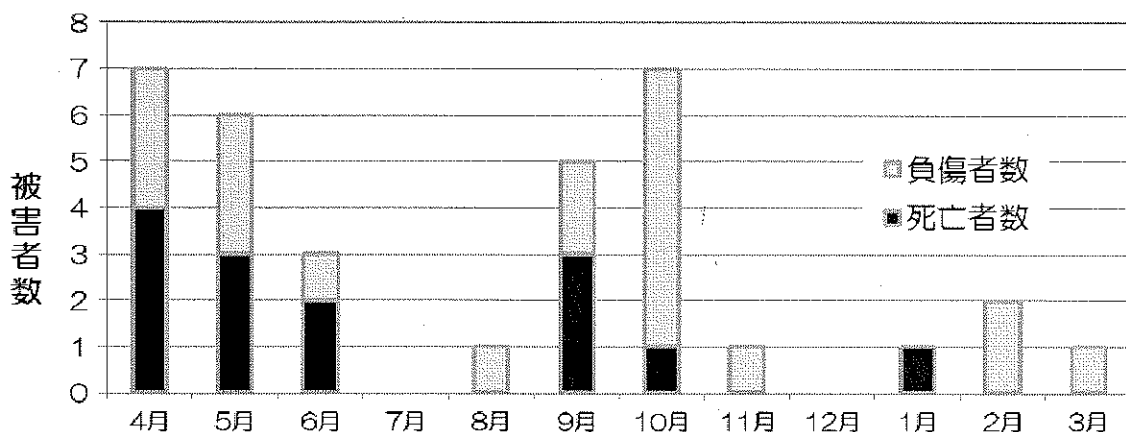
- （総合）振興局職員による巡視活動
- 普及啓発リーフレットの配付（関係施設、コンビニエンスストア、ホームセンター など）
- 道のホームページで市町村のヒグマ出没情報サイトへのリンク集を掲示 など

### 2. ヒグマによる人身事故について

#### (1) 月別被害者数（H1～27年度の合計）\*平成27年度は2月末現在

ヒグマによる人身被害は、特に春と秋に多く発生しています。これは、春は山菜採り、秋はキノコ採りなど、人間が山野に出かける機会が多い季節であることに加え、ヒグマも春は冬眠明けのために、秋は冬眠を控えて、ともに餌を求めてより活発に活動するため、人間とヒグマが遭遇する確率が高まることが原因と考えられています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
死亡者数	4	3	2	0	0	3	1	0	0	1	0	0	14
負傷者数	3	3	1	0	1	2	6	1	0	0	2	1	20
合計	7	6	3	0	1	5	7	1	0	1	2	1	34

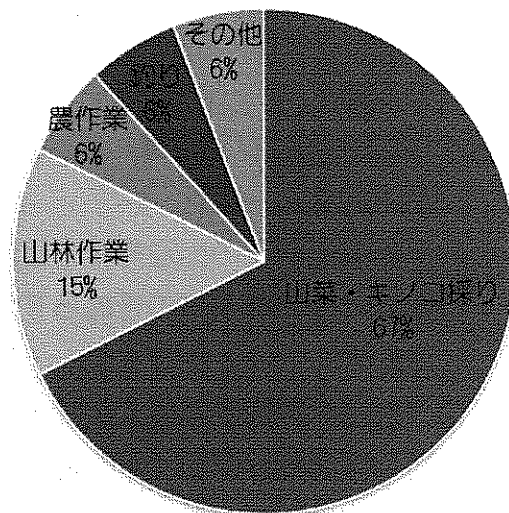


(2) 人身被害発生時の被害者の活動（H1～27年度の合計）＊平成27年度は2月末現在

ヒグマによる人身被害発生時の被害者の活動をみると、山菜採り及びキノコ採りが約3人に2人の割合と最も多く、山菜採りやキノコ採りは特に被害に遭いやすい野外活動といえます。

なお、人身被害で最も多いのは、ヒグマの捕獲に従事しているときに逆襲されるなどで狩猟者が被害に遭うものですが、特殊な事例のためそれらについては除外しています。

被害者の活動	被害者数		
		うち死亡	うち負傷
山菜・キノコ採り	23	10	13
山林作業	5	1	4
農作業	2	1	1
釣り	2	2	0
その他	2	0	2
合計	34	14	20



〔過去10年間（H17～）の春（4～5月）に発生した人身被害の概要（狩猟や駆除の際の事故を除く）〕

年度	発生月	被害者の活動	発生地	被害者	死傷
H20	4月	山菜採り	渡島管内北斗市	50歳男性	死亡
H22	5月	山菜採り	胆振管内むかわ町	73歳男性	死亡
H23	4月	山菜採り	檜山管内上ノ国町	63歳男性	死亡
H25	4月	山菜採り	檜山管内せたな町	52歳女性	死亡
	4月	山菜採り	日高管内新ひだか町	53歳男性	負傷
H26	4月	山菜採り	檜山管内せたな町	45歳女性	負傷